

発行所
大正中学校P.T.A
御所市三室206-1
電話62-2508

(校訓)
親自至
和律誠

短気は損気

PTA会長
石口嘉美



梅雨もようやく明け、抜けるような青空をすがすがしく感じる季節となりました。まさにこれから夏本番を迎えるわけですが、昨今は、毎年のように梅雨時の大雨による被害が報告されています。今年も九州地方をはじめ各地で甚大な被害が発生しました。地球温暖化の影響もあるのでしょうか、最近では雨の降り方が局所的な豪雨になることが多く感じられます。昔の梅雨は「しとしと」と雨が降る感じでしたが、最近の梅雨は常に激しい雨が降るような感じがいたします。

また今年度は、新型コロナウイルスの発生により、世界各地での感染被害の報告が毎日のように報道されています。その影響で「東京オリンピック」も延期となりました。今は感染拡大を防ぎ、人命を第一に考え、コロナウイルスを封じ込めることが優先ですので、オリンピックの延期も仕方ないことではないでしょうか。他にも、日本全国すべての小中学校が臨時休校措置となりました。期待に胸を膨らませて、入学を楽しみにして

られた新入生の皆さんも、入学式が終わるとすぐに休校となり、さぞ残念だったことでしょう。また本校だけに限ったことではありませんが、生徒の皆さんが楽しみにしていた夏休みも短くなるのが決まりました。今年は夏休みを満喫することができないかもしれませんが、それはそれと気持ちを切り替え、二学期に向けて勉強に部活に遊びにと励んで頂きたいと思っております。申し遅れましたが、本年度も昨年度に引き続きPTA会長を仰せつかりました石口と申します。小さなことからコツコツと精一杯頑張りますので宜しくお願いいたします。また、会員の皆様方には日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。今年度も皆様方のお力を貸していただければ幸いです。お願い申し上げます。

ご挨拶の冒頭でも触れましたが、今年はコロナ禍の中で様々な活動が制限されています。お子様だけに限らず、保護者の皆様方におかれましては、何かとストレスとなることも多いことと存じます。ストレスがたまること、日ごろ気にもならないようなことについて「イライラ」しますし、腹が立つたりするものです。「イライラ」や「ストレス」は「短気」の基ともなりえます。「短気は損気」という言葉もございませう。ため込まずに、その都度発散できるような方法を考えましょう。ストレス発散方法にも色々あるようですが、有酸素運動が効果的のお話を伺いました。他にもコーヒーを飲む、チョコを食べるといったことでもリラックス効果が得られ

るそうです。また、俳句のようなものも考えたり、絵画や書道にのめり込んで、集中力を高めるものもストレス発散になるようです。もちろんなんでも取りすぎ、やりすぎはかえってストレスをため込むこととなります。何をやるにも適量を心がけましょう。俳句のようなものも考えるといえ、我が校恒例となりました「標語」を考へることも集中力が高まりストレス解消に良いそうです。また、サラリーマン川柳のように笑いと融合させることで周りの方へのリラックス効果も期待できるそうです。そのようなお話を伺いましたので、大正中学校の先生方を題材に、サラリーマン川柳のような標語を現在考へております。次回の「三本の竹」通信にてご紹介させていただきます。楽しみにお待ちください。

【部活動について】
中学入学の醍醐味といえは、やはり「部活動」ではないでしょうか。私も三十数年前に大正中学に入学したこのことを思い出します。当時、私は柔道部に所属していましたが、その時の顧問が現校長の向本先生でした。余談はさておき、今年度の新入生に人気No.1の部活は陸上部だそうなんです。三十一人中なんと十一人が入部したそうです。陸上部の人気の理由は、顧問の先生が歴代男前ぞろいということが理由かもしれません。ちなみに新入生の二番人気は音楽部。三番人気は英語部、部落研となつております。今年度、陸上部・バスケットボール部・外部のスポーツ系の部活には、入部者がいなくなつたようですが、二年生、三年生諸君の頑張っている姿に



校長
向本博俊

軸は曲げない

保護者の皆様、いつもお世話になっております。昨年度末三月から今年度にかけて初めての経験ばかりで、とまどいながらの毎日でした。今もそれは継続中ですが、「ピンチをチャンスに」を合い言葉に、試行錯誤しながらも1学期が終わろうとしています。緊急事態の中で、大正中の教育が問われることがたくさんありました。しかし、これまで大切にしてきた「軸」を曲げることはできません。「学校の体裁ではなく生徒の気持ちを真ん中におくこと」教師が上からしめるのではなく親や地域と共に進むこと。他にもありますがざっくり言えばこんな感じかなと思っております。

コロナの事では、そんな軸が問われる事がたくさんありました。例えば卒業式。卒業生と保護者だけの開催になりました。そこで休校決定翌日の土曜日に急遽三年生の生徒会と教師がミーティングをもち、休校に入る前日に「在校生とのお別れ会」を持つことにしました。いつもの感動の卒業式がなくなつて卒業生は悔しい思いをしたと思いま

す。しかし大切な後輩との別れの機会だけは何とかもつことができました。また一教員のフットワークの良さは本校教育の生命線です。子どもがしんどがっているとき、すぐに教員は家庭に足を運び「大丈夫か?」「コロナの休校で、こんなごとき前回の大正中の営みもできなくなりました。そこで「子どもたちとのコミニケーションの機会を」と、ズームでのオンライン学習を休校決定後の三日間で整備し、次の週から三年生の学習相談を始めました。テレビや新聞の取材もあちこちから受け、大きく注目されました。聴くところによるとと全国で最初オンライン学習を導入した公立学校が奈良県御所市の大正中学校だったらしいです。五月ぐらいからテレビなどでオンライン授業のための整備が盛んに報道されていきました。「とまどいの中慣れない教員」「進まない現場での環境整備」という言葉をアナウンサーから何度も聴きました。本校の教員からは「うちはとくにやつてるぞ」という声が、「子どものため」となれば、なりふりかまわずすぐ動くのがうちの教員の魂です。さて、新入生を迎え入れ学校再開されたのが六月です。子どもたちはコミュニケーション活動を通して「和気あいあい」も「こちょい揉め事」もすべてひたひたの経験し人間性を高め、成長していきます。それが学校教育です。そんな人間どうしの近さとは逆をいくのが「ソーシャルディスタンス」。巷では経済活動と感染予防の間でみなさんが苦しんでおられますが、本校もそれと同じ構図のジレンマがあります。

この度、ご縁があり大正中学校に着任致しました、石倉美貴子です。一年生所属で家庭科を担当致します。また部活動は音楽部を担当致します。着任してからは心優しい子どもたちに何かと助けをもらいながらの毎日過ごしております。豊かな感性を大切に、身近にある生活に活かすことのできる知識や技能を身につける授業づくりを目標に、笑顔いっぱい頑張りたいと思っております。また、学習、学校行事、部活動など大正中学校の皆さんと先生方や地域の方々と共にいろいろなことに取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。



石倉美貴子

新着任のごあいさつ

毎週水曜日にホームページを更新しています! ご覧ください!

今年度より大正中学校に勤務することになりました、寺田竜二と申します。所属は二年生で、全学年の女子保健体育を担当します。私自身、身体を動かすことやスポーツすることが好きなので、記録を向上する楽しさや、仲間と力を合わせる喜び



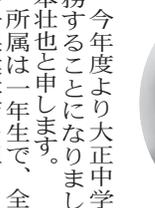
寺田竜二

約二年ぶりに復帰となりました田島陽子です。教科は美術、一年生の担当をさせていただきます。久しぶりの復帰ですが子どもたちと関わる中で、「やっぱり大正中学校はええなあ。」と思うことの連続です。慣れないところもありますが、精一杯頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。



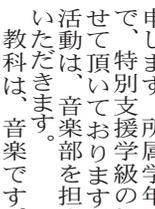
田島陽子

今年度より大正中学校に勤務することになりました、垣本壮也と申します。所属は一年生で、全学年の男子保健体育を担当させていただきます。また、部活動はバスケットボール部を担当します。学校生活や体育の授業を通して、生徒のみなさんと様々なことに挑戦し、共に汗を流して、成長していきたいと思っております。至らない点も多々あるかもしれませんが精一杯務めてまいります。どうぞよろしくお願致します。



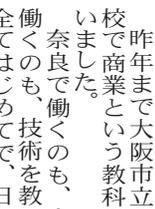
垣本壮也

初めまして、水口実菜子と申します。所属学年は三年生で、特別支援学級の担任をさせていただきます。音楽部を担当させていただきます。音楽です。幼い頃からピアノを習っていたのですが、今はサクソフーンやトランペットなども興味があります。生徒たちと一緒に学んでいけたらと思っております。至らない点が多々あるかと思っております。どうぞよろしくお願致します。



水口実菜子

この度、大正中学校にやってきました。藤田啓二と申します。所属学年は三年、教科は技術を担当します。よろしくお願致します。昨年まで大阪市立の高等学校で商業という教科を教えていました。奈良でも働くのも、中学校で働くのも、技術を教えるのも全てはじめてで、日々奮闘しております。精一杯頑張りたいと思っております。



藤田啓二

など、一人でも多くの生徒に運動の良さを伝えていければと思っております。生徒たちは三年という短い中学校生活の中で心身ともに大きく成長していく時期です。で、一緒に悩み、一緒に学んで、寄り添えるように精一杯頑張りたいと思っております。これからどうぞよろしくお願致します。

花香活動

ボランティアチーム「華団」の花香活動は、青指協を中心とした地域のボランティアの方々と大正中学校のあすなる会、環境美化委員会の生徒たちとのコラボレーションによるものです。活動をスタートした昨年度に引き続き、今年度も第1回目として7月7日(火)に活動を行いました。チーム名「華団」のネーミングは、自分たちの手で花を育てて、自分たちの学校や地域を花でいっぱいにして、という意味が込められています。その具体的な活動として花香活動が行われ、学校や地域が花の香りであふれるようにという願いが込められています。また、今年度からは新たに障がい者支援施設「あすなるの家共働作業所」のメンバーの方々も参加いただきました。今回の活動は、①プランターの土作りと朝顔やコスモスの種蒔き②プランターを飾る立て札制作の二つでした。青指協の方々の指揮のもと、プランターの土作りから種蒔きまで老若男女が共に賑やかに活動しました。みんな土まみれになりながらも、和やかに活動・交流する姿は、まさしく「地域と共にある大正中学校」そのものでした。また、立て札制作も熱心に行われ、とても見栄えの良い立て札が完成。早速飾られて、プランターの存在感が一気にアップ！この活動に関わった地域の方々や生徒たちの見事なコラボレーションの結実といえましょう。ご協力いただいた皆様、悪天候のなか本当にありがとうございました。今後ともどうか、よろしくお願ひいたします。みなさんの思いが叶って、きれいな花が咲き香ってくれますように！



七夕イベント (スマイル学級より)



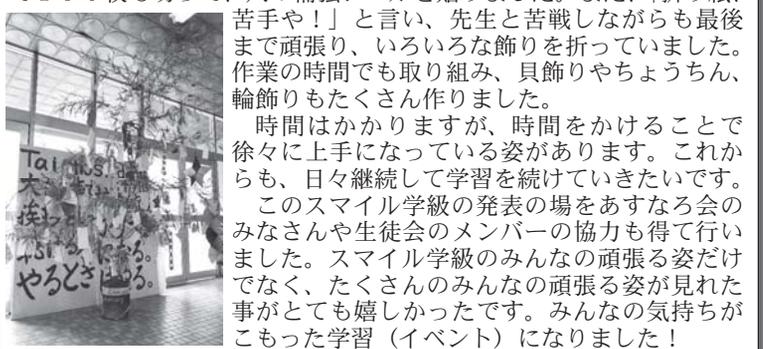
7月2日より昇降口に七夕飾りを設置しました。今年の笹は天井に当たるくらいBIGサイズです!! そのBIGな笹にも負けないくらい、いっぱい飾りがついています。

ここで少しスマイル学級の授業を紹介します。スマイル学級では進学、就職に向けて学習をしています。プレイルームで学習しているため、どんな学習をしているかがわかりにくいと思います。将来仕事をする時に、手先がうまく使える、色・形・数の判別ができる、丁寧にできる、継続してやり続けることができるなどの力が必要になることが多いです。その練習を今している途中です。



今回七夕のイベントをしようと思ったのも、「どんな勉強してるの〜?」と聞いてくれる子がたくさんいたので、プレイルームでの授業内容を知ってもらえる機会にできると思ったからです。スマイル学級の授業は先生との1対1の授業がほとんどです。プレイルームでそれぞれが国語、数学、作業、運動などさまざまな学習を行っています。その中で今年度は、学年の枠をこえて交流することができないかと考え、「合同」という学習を週1回行うことにしました。順番を守る、友だちが終わるまで待つ、まわりの様子を見ることで刺激になるなど、1人の授業では経験できないことを人数が増える事で経験することができると思っています。それがまたお互い刺激となっているように思います。友だちの様子を見て自分の頑張る量を増やしたり、人数がいることで楽しそうな笑顔も多い授業となっています。でも、今までできていたことが、友だちがいることで気になり自分自身の作業に集中して取り組むことができないという課題がみえてきたのも現状としてあります。七夕の作業学習も4回行いました。まず、みんなに配った短冊も1人で150枚も切って、穴の補強シールを貼りました。また、「折り紙、

苦手や!」と言い、先生と苦戦しながらも最後まで頑張り、いろいろな飾りを折っていました。作業の時間でも取り組み、貝飾りやちょうちん、輪飾りもたくさん作りました。時間はかかりますが、時間をかけることで徐々に上手になっている姿があります。これからも、日々継続して学習を続けていきたいです。このスマイル学級の発表の場をあすなる会のみなさんや生徒会のメンバーの協力も得て行いました。スマイル学級のみんなの頑張る姿だけでなく、たくさんさんの頑張る姿が見れた事がとても嬉しかったです。みんなの気持ちがこもった学習(イベント)になりました!



新型コロナウイルス感染防止対策

大正中学校では昨今の新型コロナウイルスの感染症拡大防止をふまえ、様々な取組を行っています。教職員、生徒全員にマスクの着用を促し、1時間に1回以上の換気や、手洗いうがいをこまめに行うようにしています。教室で毎朝健康観察カードを回収し、体調のチェックも行っています。給食時には教員から、「ちゃんと手洗ったか?」「マスク必ずしてや。」といった声かけもしており、最近では生徒同士で声かけをする様子が見られるようになってきました。本校ではこれまで授業においても、常に座席を班の形にしていたましたが、現在は生活班で活動しつつ、机は前を向け生活しています。さらに、市より生徒一人一人に学校用飛沫防止ガードを配布していただき、それを机に付けて授業を受けている様子も見られます。授業や部活動が終わる、生徒たちが下校した後、教員で各フロアの消毒作業を行っています。その様子をたまに見かけた生徒から、「え、毎日やってくれるの!」「これで安心して学校来れるわ〜。」といった声も出ており、外出するのも不安な毎日ですが、少しでも安心・安全に学校生活を送ることができるように取り組んでいます。



最近では気温も上がり、湿度が多い日々も続いており、生徒たちからも「マスクしてたら息苦しくてしんどい・・・」といった声も出てきています。そういった現状もある中で、生徒だけでなく教員も感染予防や、感染防止対策に関して知識を深めていくことが大切であると考えています。「自分は大丈夫」と油断することなく、できる限り注意を払いながら楽しい学校生活を送ってもらえることを願っています。

生き方科 (道徳)

感染症拡大防止のための休校が明け、本校でも通常の授業が再開されました。授業の再開に伴い、生き方科の授業もスタートしました。これまで人権教育を大切に、「人としての生き方・あり方」にこだわった教育活動を様々に行ってきた大正中では、道徳科の時間を「生き方」科としています。



今年度の生き方科の授業は、昨年度取り組んできたWAYプロジェクト、哲学対話、ソクラティックダイアログを踏まえて、試験的に学校長が全学年の授業を行なっています。道徳の授業での印象的な場面を紹介します。「聞く」と「聴く」にはどんな違いがあるのでしょうか。一般的には話をきく時には「聞く」、音楽をきく時には「聴く」が使われていますが、漢字から意味を考えてみて欲しいという問いかけに、生徒たちはそれぞれ真剣に考え意見を言っていました。中でも一番印象的だったのが1年生の生徒の「聴くには、耳と十と目と心という漢字が入っています。いつもの十倍、耳と目を使って、心で聴くという意味だと思えます。」という答えです。向本先生も「いろいろな見方をして、君らすごいな。心という字が入っているという答えしか考えてなかったから、君らの発想の豊さに驚かされた。」と言われていました。そして、生き方科の授業ではいつもの十倍、耳と目を使って心で聴くことを大切にしてくださいということが伝えられました。

次に、みんなそれぞれが「自分ルール」を持っているという話についての場面。「人を傷つけない。友だちを大切に。家族を大切に。ありがとう、ごめんなさいはきちんと言う。一人ひとりが自分ルールを持っていて、自分ルールにしたがって生きています。自分ルールはたくさんあると思うけれど、今回は1つだけ自分の中で一番大切にしている自分ルールを考えて書いてみよう。」と言われた生徒たちの真剣な目はプリントに向きます。すぐに書き上げる生徒、隣の子が何を書くか気になる生徒、じっと悩む生徒、「一つしかダメなんですか?」と先生に問いかける生徒・・・自分ルールを考え、書く姿も答えも様々でした。そして生徒たちは「自分ルール」を発表しました。それぞれの生徒たちが、それぞれの自分ルールに至るまでに、いったいどのようなストーリーがあり、どのような思いをしてきたのかとても気になりました。何人かはそれを発表していて、クラスの子が語るストーリーに真剣に耳を傾け聴いている姿が見られました。

生き方科の授業は、生徒たちの一言や意見から授業がつくられていっています。今後もそんな授業の一コマをお知らせしていきますので、ぜひホームページをご覧ください。

余談ですが、昨年度からWAYプロジェクトに参加していただき、授業づくりに関わってくださっていた大阪市立大学の土屋先生が、前回の授業からzoomを通して生き方科の授業を見てくださり、コメントやアドバイスを毎時間くださっています。WAYプロジェクトでもPTAや地域が様々な意見を出してくださっています。そちらの方も、ホームページで発信していきますので、ぜひご覧ください。

教務部より

7月3日にオープンスクールがありました。今回は約7割のご家庭のみなさまにご来校頂きました。1年A組は堀榮先生の国語、2年A組は新子先生の数学、村田先生の英語、3年A組は鶴田先生の英語、3年B組は園丘先生の社会で授業参観が行われ、子どもたちの学びに向かう様子を見て頂きました。授業では発問に対して挙手をして全員が授業に参加することを目的とした、RHP(レイジングハンドプログラム)にこだわり、授業の発問の仕方を工夫することで、全員が学びに向かう授業づくりを心がけています。また、「みんなの授業研」にも精力的に取り組んでいます。これからの大中生の学びの姿に期待です。



2020年度 PTA各委員会活動内容

<h5>三役</h5> <ul style="list-style-type: none"> ○三役会 ○各委員会の世話役 ○入学式・卒業式の来賓参加(未定) ○標語の選定 ●理事会 ●市・県の委員会参加(研究大会) 	<h5>進路委員会</h5> <ul style="list-style-type: none"> ○公立高校訪問(未定) ●県・市の委員会参加 ●進路アンケートの実施
<h5>大字委員会</h5> <ul style="list-style-type: none"> ○各大字委員との連絡調整 ○卒業記念品贈呈担当(3年生へ呼びかけ) ○各委員会に加入して活動 ○学校行事への協力 	<h5>広報活動委員会</h5> <ul style="list-style-type: none"> ○広報誌「はばたき」編集協力(年3回) ○各種行事における写真撮影協力 ●県・市の委員会参加 ●市広報紙編集協力
<h5>人権教育推進委員会</h5> <ul style="list-style-type: none"> ○学校の人権教育への協力 ○「あすなるの家」との交流 ○奈人教研究大会参加 ●県・市の委員会・研修会参加(人権教育センター) ●人権教育講演会への参加 	<h5>教育問題委員会</h5> <ul style="list-style-type: none"> ○鴨都波神社巡回指導(夏)中止 ○戎さん巡回指導(冬) ○市青少年指導員 ●県・市の委員会・講演会参加

その他、PTA全体の活動として、
 ○学校行事における活動支援
 ・大中祭での受付
 ・オープンスクールでの受付
 ●市PTA研究大会への参加

◀○は中学校での主な活動 ●は県・市PTAでの活動▶